

2007 年度前期 マクロ経済学 1

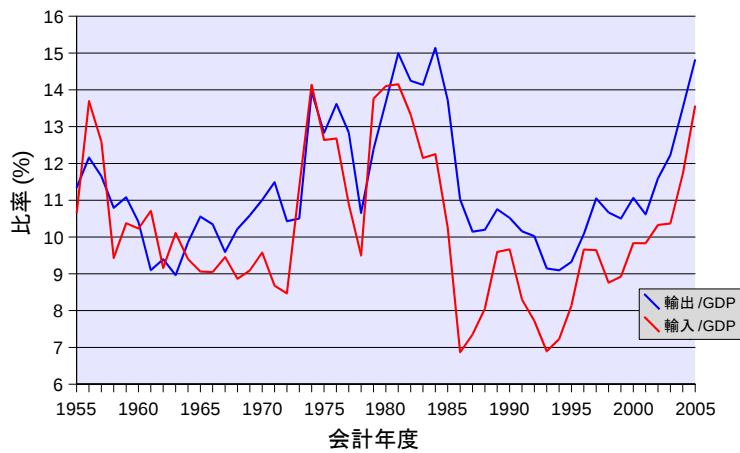
第 6 回 財市場と金融市場の開放性

今回の講義

- 次回・次々回
 - 対外取引を考慮した IS-LM モデル (マンデル・フレミングモデル)
- 今回
 - 貿易 (財市場における対外取引) の重要性
 - 名目為替レート、実質為替レート
 - 金融市場における対外取引の重要性
 - 国際収支表
 - 金利平価条件

貿易の重要性

輸出・輸入の対 GDP 比率(名目値)



(出所) 内閣府経済社会総合研究所 国民経済計算 (1993 年度までは 68SNA, 1994 年度より 93SNA)

輸出の対 GDP 比率 (2004 年, %)

日本	13.12	中国 (2003)	34.34
アメリカ合衆国	10.02	韓国	44.09
英国 (2003)	25.09	タイ	70
フランス	25.91	インドネシア (2003)	31.24
ドイツ	38.19	香港	190.35
オランダ	65.45	エチオピア (2001)	15.29

(出所) IMF International Financial Statistics より作成

- 輸出の対 GDP 比率は (1) 人口, (2) 他国との物理的距離, (3) 経済の発展段階に依存。

- 名目値であることに注意: 為替レートと原油価格の変動の影響も重要。

名目為替レートと実質為替レート

- 財・サービスの対外取引を考慮したときの GDP の需要 (支出) 構成

$$Y = C + I + G + X - M, \quad X: \text{輸出}, \quad M: \text{輸入}$$

- 外国財と自国財との間の選択

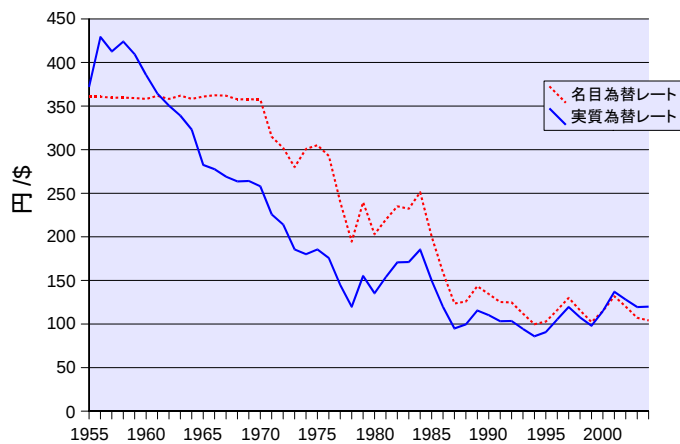
- 名目為替レート (nominal exchange rate)

- 自国通貨高:

- 実質為替レート (real exchange rate):

名目為替レートと実質為替レート (2)

対ドル名目為替レートと実質為替レート
(2000 年基準 GDP デフレーターによる)



(出所) IMF International Financial Statistics より作成

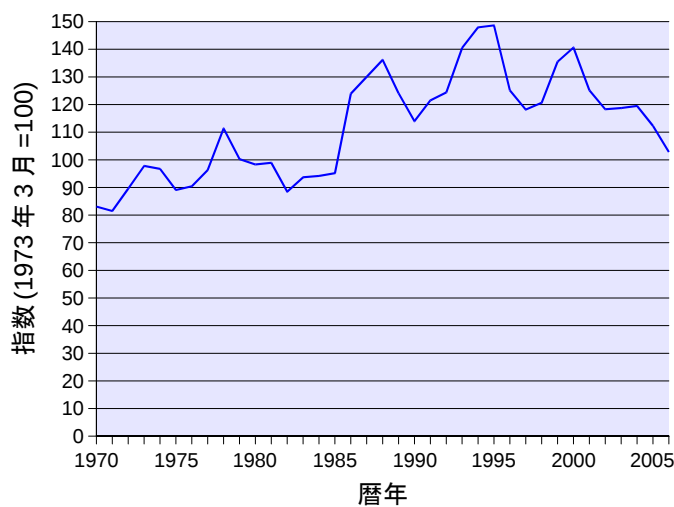
- 名目為替レート
*1971 年 8 月まで : 固定相場制

*1973 年以降 : 変動相場制

- 実質為替レート : 2000 年基準 - 水準自体には意味なし

名目為替レートと実質為替レート (3)

日本の実効実質為替レート(レート大 = 自国財高)



(出所) 日本銀行統計

- 実効実質為替レート (effective real exchange rate) : 多国間実質為替レート

金融市場の開放性

- 金融市場における対外取引の重要性
 - 日本の1年間の輸出・輸入額 (2006年) 1兆1515億ドル。
 - 東京外国為替市場の1営業日の取引規模 (2006年) 522億ドル。
- 財市場と金融市場の対外取引はどのように関係しているのか？
 - 貿易黒字 (赤字) = 財・サービスの輸出 - 輸入 (輸入 - 輸出)
=
 - 現実には外国との金融取引は貿易のみで起こるわけではない。
- 国際収支 (balance of payments): 1国の海外とのあらゆる経済的取引を体系的に記録した会計システム。

国際収支

- 国際収支 (balance of payments)
 - (1) 経常収支 (current account): 貿易、所得移転に伴う海外との資金の受取・支払、および海外との所得の受払を記録。
受取 > 支払 → 経常黒字
 - (2) 資本収支 (capital account)
海外との間の資産・負債の受払いを計上

受取 (資産増、負債減) > 支払 (資産減、負債増) → 資本収支赤字 (資本の純流出)

原理的には

国際収支 (2)

国際収支 (2006年度) (単位: 1000億円)

(1) 経常収支	212.53
貿易・サービス収支	82.96
貿易収支	105.15
輸出	736.3
輸入	631.15
サービス収支	-22.19
サービス収支合計受取	137.95
サービス収支合計支払	160.13
所得収支	142.39
所得収支合計受取	201.49
所得収支合計支払	59.1
経常移転収支	-12.82
(2) 資本収支	-153.26
投資収支	-148.33
直接投資	-75.47
証券投資	152.14
金融派生商品	6.13
その他投資	-231.12
その他資本収支	-4.93
内資本移転	-4.35
(3) 外貨準備増減	-39.45
(4) 誤差脱漏	-19.82

(出所) 財務省・日本銀行 『国際収支統計』

(経常収支)

- 貿易収支：財の取引
- サービス収支：サービスの取引

所得収支：雇用者報酬、投資収益の受払

経常移転収支：対外援助や労働者送金などの無償取引

(資本収支)

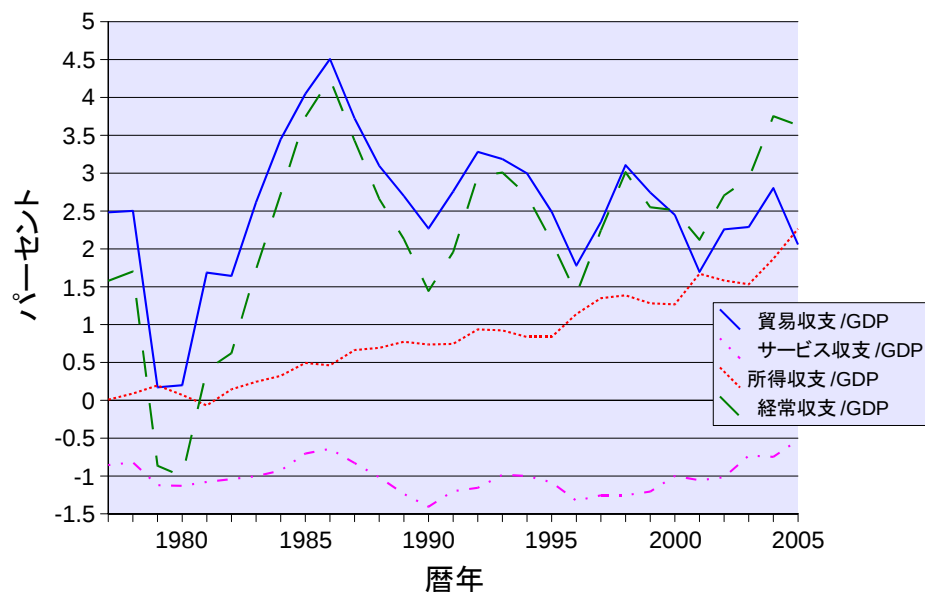
投資収支：金融資産・負債の取引

その他資本収支：固定資産の取引

外貨保有増減：中央銀行の管理下にある対外資産（金や外貨）の増減。広い意味での資本収支の一部。

国際収支 (3)

貿易・サービス・所得・経常収支の対 GDP 比



(出所) IMF International Financial Statistics、日本銀行・財務省 国際収支統計、内閣府 国民経済計算より作成

国内資産と海外資産との間の選択

- 金融市場における対外取引 - 国内（金融）資産と海外（金融）資産との間の選択
- 以前同様貨幣と債券（１年物）のみを考える。
- t 年における国内居住者の債券投資（購入）の選択
国内債券への１円の投資 →
外国債券への１円の投資 =
→
=
• 投資家がリスクを考慮しないとき、両債券投資からの期待収益率は等しくならねばならない。
- 裁定条件：（カバーなし）金利平価条件（interest parity condition）